

# 選手のみなさんからの「ゴルフボール」が 病気と闘う子ども達に役立てられます！

- ドナルド・マクドナルド・ハウス へのご協力をお願い -

現在、日本で難病や重病に苦しむ子ども達は約20万人と言われていて、家から遠く離れた病院に入院しなければならない子ども達がたくさんいます。そんな子ども達にとって、何より大切なことは、ご家族がそばにいること...。けれど、病院の近くに宿泊する場所を探すのはとても大変なことで、お金も掛かります。ですから、看病するご家族は、病院の床やソファで寝たり、食事も簡単なお弁当で済ませたり...。お父さんやお母さんは病気の子どもの看病をするだけでも大変なのに、色々な不便や苦痛を我慢しているのです。そんな病気の子ども達を勇気づけ、看病で頑張るご家族をサポートする為に、病院のお隣に建てられているのが「ドナルド・マクドナルド・ハウス」です。このハウスのおかげで、子ども達は病室の窓からすぐそこにご家族を感じ、ご家族もいつも子どものそばにいてあげられます。ほかのご家族との交流もできるので、ひとりで悩みを抱え込まなくて済みます。

そんな「ドナルド・マクドナルド・ハウス」に対し、ゴルフダイジェスト・ジャパンジュニアカップに参加してくれている選手のみなさんと、協力できる事はないかと考えました。そこで、4年前より、選手のみなさんに「いらなくなったゴルフボール」を持ち寄っていただき、それを「リサイクル」して、ドナルド・マクドナルド・ハウスを運営する財団へ寄付する...というボランティアを行っています。

出来ることから少しずつ...ぜひ、是非みなさんと協力してください！！

ゴルフボールは、ご不要になったもので大丈夫ですが、なるべくオンネームのない(名前や会社名などが印字されていない)ものをお持ちください。

周りの人にも聞いて、いらぬボールがあったら、一緒に持って来てね！

ドナルド・マクドナルド・ハウスは、現在 日本に6ヶ所あります

6つのハウスのある場所は、東京都世田谷区 宮城県仙台市 高知県高知市 大阪府吹田市 栃木県下野市 北海道札幌市 で、それぞれにかわいいマークがあります。ハウスは、たくさんの会社や個人の方からの寄付、そしてボランティアの方々によってサポートされています。多くの人々の優しい気持ちが、病気の子どものとそのご家族を力強く支えているのです。



( せたがやハウス )



( せんだいハウス )



( こうちハウス )



( おおさか・すいたハウス )



( とちぎハウス )



( さっぽろハウス )

平成21年8月14日  
2009年 第12回大会  
ゴルフダイジェスト・ジャパンジュニアカップ  
大会実行委員会